

会議状況等報告書

報告者

会議の名称 第2回大府市緑化推進委員会

日時 令和4年9月28日（水）9時30分～

場所 201・202会議室

出席者 樋口委員、服部委員、櫻井委員、下山委員、深谷委員、水谷委員、島田委員
近藤部長、深谷課長、深谷係長、増田主査、渡邊

内 容

1. あいさつ

委員長）皆さんおはようございます。本日もよろしく申し上げます。新しい緑の基本計画が運用されてからこれまで、事務局が日頃から実施していただいている緑の施策の報告が中心にこの委員会が進行してまいりましたが、新しく計画が始まったということで後ほど説明があると思いますが基本目標・施策を体系的に整理いただいた中で俯瞰的に全体の施策がどうゆう進捗状況なのか、また重点施策ということも位置付けておりますので、その中で特に重点施策について皆さん方には今後の進め方ですとか、アイデア、ご意見をいただけたらさらにいい会議になると思っておりますのでよろしく申し上げます。

2. 議題

（1）大府市緑の基本計画の進捗状況について

（事務局より説明）

委員長）非常に幅広い沢山の緑花施策を実施いただいているということが把握できるかと思えます。基本目標3 自然観察会等の開催で現状のコロナもあって大変な時期だと思えますが、セレクトナ管理者として現状の報告もしくは課題等も含めてあればご意見を頂きたいと思えます。

委員）講座自体は人数を通常20人前後のところを10人くらいとして、講座自体の人数を制限されていますので相当な数が減っていると思えますが、講座の数を増やしたり北山小学校に直接私が出向いて出前講座を行っていますので総トータル的にはまた伸びると思えます。この状況だからと流しているわけではなくてそれなりの努力はさせていただいています。これから楽しみなのはフジバカマ、アサギマダラ関係です。これからどれだけの人が来てくれるかなというところはあります。いずれにしましても、フジバカマ、アサギマダラ関係、それからここ2年間は開催できていなかったセレクトナフェスタが今年は開催の予定となっていますので必然的に伸びてくるかなというところはございます。

委員長）気になったというか興味があるのは、いろいろな講座がある中である特定の方がいろんな講座に興味があるのか、それとも不特定多数の方が色々な講座に分かれてご参加されているのか、参加者の対象というのは実感としていかがですか。

委員）リピーターが多いです。絵手紙講座と緑化の花壇づくり講座などは内容が違いすぎるので当然参加者は分かれてきますけど、そういうところでいいますと例えば緑化の花壇づくり講座だったらリピーターが圧倒的に多いですね。年間で募ってもいいと思うくらいリピーター率が高いです。あとは子供たちが参加できる自然観察となると大人も子供も全方向対象なのでそういった意味ではいろいろな方が参加されるし、当然徐々に子供も大きくなっていくので入れ替わりは当然出てくるという感じがします。ただ、新規で新しい人が加わって盛り上がっているという雰囲気ではちょっとないかもわからないですね。

委員長）そのあたり今後の課題といえますか、皆さんで意見収集や議論をするテーマになるのかなと思えます。

委員）11項の計画指標の基本目標1「大府らしさが感じられる緑を守る」の目標が現状維持となっている中で減ってきていると説明がありましたが、これは当然これからも減っていくと想定されているのかなと思っておりますけれども、ということは、現状維持は無理なのかなと、そうなったときに計画最終年度の令和12年度にどこまで抑えたいとか、事務局はどのようにお考えですか。

事務局) 数値の関係でございますが、こちらについては計画書を作ったときにこの目標を立てていて、今回や前回にも計画指標に対してどんな方向性を向いているか明確にしようということですので今回これを出しましたのでそのような意見を頂けるためにもこの指標がこういった形で出せてよかったのかなと思っております。現実的に大府市はどちらかというと今自然を守らないといけないという中でどうしても政策的に一部の農地が住宅地に変わったり、また市街化区域の中にも農地があったりするものですからそのあたりの維持が難しいのかなといったところでございます。しかし、開発といって住宅ができればそこに公園だとか緑地も守らなければならないというルールもございまして最低限維持はできるのかなと思っております。この指標につきましては、10年間このような形となっておりますが、どこかで見直す必要があるのではという意見を前回頂いておりますので、また改めて時期が来たときに皆さんと議論させていただいて我々も最低限これだけ守る数字や現状維持とさせていただくなどまたご提案させていただいてご議論いただきたいと思っております。これを維持するというのはこの2年、3年をみてもなかなか難しいというのが現状だと思います。ですので、改めてそこについては議論という形でお願いできればと思っております。では、どこの数字とするのかということがございますが、大府市総合計画や都市計画マスタープランなどを参考にしながら数値目標を出していければと思っております。

委員長) 具体的に目標を見直すという機会を探るとなると一つアイデアとしては中間年かなという風に思います。総合計画や都市計画マスタープランの運用状況を見据えて、中間年の例えば令和6年や令和7年が丁度いいかというご判断はつきますか？

事務局) 大府市全体のまちづくりの目標である総合計画、それから大きな土地利用をまとめた都市計画マスタープランがございまして、同時期に策定させていただいておりますので、見直しも入ってくるということも今考えております。今一度精査した中でこの数値目標を考えていくことは可能かと思っております。それを参考にしながら見直すのはやはり令和6年、7年かなと思っております。

委員長) ※1で「土地利用に関する統計年報(愛知県)を参照しています」というだけの注意書きとなっておりますが、例えば「現状を鑑みて令和6年度又は令和7年度の中間年度に見直しを検討する」という注意書きをこの資料の中に明記していただけたほうがいいと思います。事務局にはいつ頃の見直しが適切か確認いただいたのち、注意書きに付記をお願いします。

委員) 加えて数字もなんですけども、残す必要のある場所など場所々々で考えていくことも大切かと思いました。

事務局) 大府市全体の土地利用の構想を記した図面がございますのでご提示させていただく機会を設けさせていただこうと考えております。

委員) 5項の緑道の環境保全でグラウンドカバーの効果を検討したとありますが現状どんなグラウンドカバーが特徴といいですか、効果とかはいかがでしょうか。

事務局) 5項の上の四角で囲ってある部分の下側に字が小さくて申し訳ないですが、植栽品種が記載してあります。我々が見たところ③-1のタイム種は非常に効果がありました。ただ、我々も植えて草が生えなければいいなと思っておりますけど、実際のところは芝桜なども草が生えているところにまだ残っていたりするので今後どうしていくか考えているところです。全てタイム種を植栽すれば草も生えにくくなると思いますが、そうではなくてやはり自然の草が生えるところと抑えるところのバランスを考えていかなければいけないと思っております。結果的に言うとタイム種が非常に良かったと思っております。

委員) タイムロンギガウリスはグラウンドカバー用のタイムで非常に繁殖力が強いし、1年を通じて緑があって春には早い時期にとても綺麗なピンク色のお花が咲いて、何年も続けるのでそれが上手く繁殖する状況を作ってあげればすごく効果が高いと思います。

事務局) 肥料とか撒いた方がよろしいのでしょうかね。

委員) 1年に1回か2回与えてあげればすごく勢い良く伸びると思いますけど、他の草が入り込まないようなことが大事になってくると思います。これは丈夫な生育をするので大きな草が入り込んで上に被ってしまうとかいうようなことを避ければ効果があると思います。

事務局) 予定としては、緑道、園路がありまして川沿いの草がだいたい覆い被さってきてしまいます。そうすると歩くところが狭くなったり、自転車とのすれ違いが大変になったりしますので、緑道沿いの1mくらいのところにこれがずっと植わっていくと覆い被さってくるのが減るかなと思っておりますのでそんな使い方もできたらいいなと今思っております。

委員) 4項の緑を豊かな暮らしとまちの実現に活かす(1)都市環境の整備のところでも市役所前にツツジを植えると言っていますが、前にも提案させていただいたことがありますが、ここは土壌が合わなくてツツジを植えてもまた枯れちゃう可能性があると思うので、まだ植えるのであれば大倉公園前のトキワマンサクなどを植えてもらった方がいいと思う。植えても枯れてしまっただけでは金を捨てているのと同じで、それで整備しているかとい

えははっきり言って整備もしていないので整備できないのであればトキワマンサクを植えてもらった方が枯れる可能性がほとんどないと思う。いくら市の花でツツジをいっばいといっても枯れてしまうものを植える必要はないと思う。整理し補植していくのであればいいけど植えっぱなし、枯れっぱなしで空いている場所があるので、中途半端なやり方をするのであれば僕はトキワマンサクを植えてもらった方がいいと思う。市の花になったからと言ってそれを絶対やる必要はないと感じている。

事務局) おっしゃる通りでなかなか土壌的につかない部分もありますが、全てが全てつかない訳ではないと思っています。市役所のあたり、特に市役所の中は元が池であったため、なかなかつきにくいと思いますけれども、5月のゴールデンウィーク前から後にかけてずっとツツジが咲いております。ということは、枯れてはいないので、ある程度樹木でございまして種類によっては長寿のものもあれば短命のものもあるとは思っているんですけど、しっかり咲く以上は市のメイン道路のツツジはしっかり保全していかなくてはいけないという認識であります。まったく枯れて無くなっている区域があるわけではないのでどうしても1本2本枯れてしまっている部分はありますのでそういった部分はしっかり補植していかなくてはいけないと思っております。一部分的に枯れてしまっている部分については補植を行っている。

委員) 土壌に合う土に入れ替えていただくといいかなと。

事務局) 補植するときはしっかりと土も入れ替えながらやらせていただいております。5月には皆さんが楽しんでいただけるような市のメイン道路としてやっていければと思っております。

委員) 11頁のこの表ですけど、ここ何年か委員をやらせていただいておりますけど、素晴らしい表になったと思っています。中間年で目標を見直したらどうかという議論もこの表があればわかりやすいですし、令和12年の目標を途中で超えてしまったらどうするかといった話もできるかなと思います。今後の進捗管理もしやすくとても分かりやすい表となっていたのでとても感動しております。

ずっと気になっているのは、いろいろな緑地を増やす必要はあると思いますが、増やせば増やすほど維持管理にものすごいお金がかかっていると思います。逆に言うと造ったときの費用よりも維持管理にお金がかかっているのかなと思うところです。そのあたりのバランスというのは、緑地の職員の方は本当に大変だと思います。色々な方から造れ、増やせと言われるでしょうけど、増やしたらどうなるでしょう。皆さんがスコップを持って掘るわけにもいかないですもんね。逆に本当に掘っているのではないかなと。チェーンソーや草刈り機を持って作業されているのかなと思いますけど、皆さんがそれをするとかせっかくこういいものが計画的にやれていかないので、そのあたり事務局の方々はシレンマがあるのではないかなと感じていて、大変さは非常によくわかるので今後もこの表を基にどんどん進めていけたらなと思いつつながら、この表を見ながら感動しております。

委員) 今のご指摘の点は市民との協働だとか「協働」というキーワードが今後重要になってくるのではないかなというご示唆と他の委員からあったように植えるのはいいけれどそれを枯らさないようにどの運用していくのかということが関連していくと思っております。基本目標2の都市公園の方は資料5、21頁にあります横根平子公園のワークショップなど住民を巻き込んで運用していきたいというお考えでよろしいですね。

事務局) ありがとうございます。おっしゃる通り作れば維持管理にお金がかかるというのは緑のみではなく公共施設全てに掛かってくるものです。我々も市全体で公共施設の在り方をしっかり認識したうえで整備を進めていくという状況です。先ほど委員長からもお話がありましたが、後ほど説明させていただきますが、10月1日にワークショップを行います。公園の整備をするにあたって市がやれることには限界がありますよということをしっかり認識してお伝えしていこうと思っております。しかし、緑を潰す以上、残すべき緑も必要で、これから公園を整備していくものですから地域の方に入ってきて、地域の方たちが無理をしない範囲で何かできることはないですかといった形で地域の方たちと新しい公園づくりができればなと思っております。ただ、現実を申し上げますとやはり昔から緑地とか樹木などをいろいろな地域のコミュニティでやっていたという方々というのは非常にたくさんお見えになりましたが、どうしても高齢化を理由に維持管理できなくなったというのは花壇でもそうですし、水路でもそうですし、道路の草刈りでもそうですしといったところがあってですね、どうしても今までやっていただいていた方が社会情勢の変化を含めて様変わりしてきたという現実がございます。「協働」という言葉を大府市は以前からも市民の方には伝えさせていただいておりますのでその辺が上手いこと機能できれば特に緑地などの維持管理にいいのかなと思うのですが、なかなか難しいところがございます。そのあたりは課題として我々の方でし

っかり対応していかなくてはいけないと思っております。

委員長) 緑花を進めていく基本的な考え方というか公園を作るときはこういうことをしてこういうプロセスでやっていきますというような規定や取り決めというのは何かまとまっているものはあるのでしょうか。

事務局) 特に取り決めなどはないですが、今までは色々な公園を行政が一方的に作ってきて、行政が管理して、でもそこに公園を使う人がいてということもあったと思いますが、前はこの公園にどんな遊具を置きましょう、とか、どんな配置にしましょう、だけでした。そうじゃなくて、地域の方たちが何か背伸びせずにはできないかということも問いかけながらやればなと今思っております。今後、それがどんな風に機能していくかといったところはなかなか難しいかなと思います。それと今年特になんですけれども、雨が多くて公園などにすごい草が生えてしまっています。地域の方からちびっ子広場の草刈りをしてくれと言われて我々が行きますが、公園全体に草が伸びてしまっている状況です。それは利用者がお見えになられれば土を踏んで草が生えない状況になりますけど、結果的に外で遊ぶ子供が少ないことや暑さもありますけど、外に出て公園に行って遊ぶことが少なくなってきているということも様変わりの一つかなと思います。なので、公園の隅ではなく、人がいて子供が走っていたらこのような場所草が生えないよねという中央あたりにも胸の高さの草が生えているというのが現状です。そういったことを踏まえると、公園の在り方自体考え直さないといけないかなと思います。

委員) 今年には本当に雨が多くて例年以上に夏草が多くて、先ほどのセレトナさんの話ですけど、1年を通じて車で移動したりしていますが、ここ数年人の出入りが何か多くなったと感じて、河津桜から始まっているいろんなイベントをされている館長さんの努力のおかげで皆さんの認識が高まっているのかなと思っています。アサギマダラももうすぐ飛来することですけど、やはり関心のある人は研究熱心な人や子供たちも今話題に上がることが増えているから大府市もいろんな町とは言われていますけど、アサギマダラが飛来することを強調していくといいかなと思います。

委員長) 今の指摘にありました11頁の基本目標4緑を豊かな暮らしとまちの実現に活かす「水辺や緑と親しめる空間の整備に満足している」というところの満足度に直結する示唆だと思います。委員からもありましたが、こういった取り組みを広く市民に周知していただき、緑のこんな施策をやっていきます、緑のイベントがありますよということを通じてこの基本目標4につなげていくというのは繋がりがあると思いますから、今やっていることをもう少しファンを増やすとかリピーターを増やすということも含めてやっていくというのは非常に重要なことかなと思います。

維持管理という側面で私質問しようかなと思っておりましたが、それは多分、維持管理と関係する内容で、3頁の基本目標1(4)「河川水辺の保全」の【重点施策】ピオトープの整備のところ、2021年度実績として官民連携については、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施とのことですが「民」とはどういう意味でどういう連携をやっていくのかという点も先ほど来の維持管理ということとか住民との連携も含めて共通する対象なのかなと感じていますが、このあたりの民間の「民」なのか、住民の「民」なのか、事務局の現時点でのお考えをまずお伺いしてもよろしいでしょうか。

事務局) まず緑の基本計画の【重点施策】ピオトープ(生物生息空間)の整備のところでは鞍流瀬川を中心に野鳥などの生き物が集う川辺空間の整備や、自然環境の保全を図りながらの景観改良を官民連携で行います。ということが書いてありまして、コロナになる前の当初の目標はまずは市の職員で実際に環境整備ができるかどうかを試したうえで周辺には豊田自動織機やアパックスがあったりするので、そういった企業にもご協力をいただきながらやっていけたらと思っておりました。また、コミュニティや自治区は普段からやっていたので、その方たちに足を伸ばしていただけるような形で一緒にやればなと思っております。さらに人間環境大学もありますので学生の方たちというのは非常にマンパワーもありますので、本当はそういった方たちと飛び石周辺を上手くやればという理想は今でも持っております。

委員長) ピオトープという空間、施策をいろんな主体を巻き込んでやっていきたいというお考えの中で、この委員会としては皆さんからご意見頂いているように維持管理という視点でそのあたりに注力した議論というか今後の進め方の話はやるべき議題なのかなと考えています。先ほどからありますように提案型緑化推進事業の話も今後議題2としてありますけれども、委員から問題提起があるようにいわゆる公共の空間を住民やコミュニティがやっているものをコミュニティベースではなく、ある意味、公共という枠組みの中で住民と一緒にやっていくという枠組みも大事じゃないかなというご指摘、今の制度の課題にも関連する話だと思いますので、協働の体制というか進め方を今すぐに議論したいという訳ではないですが、今後、中間年の改定に向けてそういう議題をこの委員会の中で設けて皆さんと議論するというのは非常に大事なテーマだと改めて思いましたのでそういった議題をまたご準備いただいて議論するということを進めたいと思っておりますが、

いかがでしょうか。

- 事務局) 維持管理は永遠のテーマだと思っております。この会議の中で我々からご提案させていただくことはご提案させていただきながら基本計画に基づくような実施施策を検討出来たらと思います。
- 委員) やはり維持管理が大変で、駅東はいいですけど駅前のロータリーの方はやらないといけないとは思いますが、なかなか今草がボーボーで駅西の顔としては申し訳なく思っていますが、なかなか課長のイメージのように行うのは難しく、みんなを総動員できるかといったなかなかできないので、できたら委員長のおっしゃるように市が音頭を取ってみんなでやるぞといった形でできたらいいと思う。コミュとしても限度がありますから周知を皆さんにお願いできればやればやりやすいかなと思います。
- 委員) セレトナの学習室前の花壇のところはひとつ例になるかと思うのでお話しします。そこは数年前まで草がボーボーで何もなかったところですけど、そこに花壇を造ろうと思ひまして、まず講座を通じて花壇を造ることを大前提として何したらいいかなと思って、花壇をちゃんとやれるように指導できる人に必ず毎回来てもらいその人に講師になってもらおうと思ひました。その指導者として造園業者さんを巻き込んで月一回の講座で、参加者もぱらぱらと来ては維持できないと思ったので始める前に考えたのが毎回参加してもらえるレギュラー的な人が5人程いれば上手く維持できるのではないかなと思って、近所の方や常に好意にいただいている方などに声掛けをして、この5人の方たちをレギュラー化しました。その方たちとは別に広報などで講座参加者を募集し進めていったところ上手くいき、その人たちも完成に近づく中でやりがいのことを見つけて今ではほぼほぼ完成してきています。参加していただいている方はやりがいなどどこかで持っていていただいているので、そこを上手に刺激して繋がっていけば長くやれるし、維持もできるのかなと思ひながら、ただそのレギュラー陣を繋ぎとめるといのはかなりのエネルギーがいりまして、私たちの今のやり方で進めるとなるとかなり大変で、それを市の方にこの仕事の流れの中にどう組み合わせていけばいいのかなと時々思ひますが、やはり私たちが動くのではなくリーダー的な人たちに指示と管理をやっていけばある程度つながるかなと思ひます。一つの参考例として紹介させていただきました。
- 委員長) 維持管理という視点でコミュニティといった対象もあり、今、〇〇委員がおっしゃった新しく含むという体制をどうつくっていくかというのも重要な検討の議題となっていくと思ひますので今の事業を参考としながら大府のそれぞれやるべき場所に適した集め方や維持管理の方法を継続的に議論できればなと思ひます。
- 委員長) 質問ですが基本目標4(3)健康・福祉の向上、地域コミュニティの醸成の中の1つ目、緑や花を楽しむウォーキングコースの充実ということでウォーキングイベントを他の部署では実施していますということで報告をいただきましたが、このウォーキングイベントの歩くコースというのは先ほど追加資料でいただいている緑道を中心としたコースが設定されているとか、それぞれの緑のインフラ施設を中心にウォーキングコースが設定されているとかそのあたりウォーキングコースの実態について伺いたいと思ひます。
- 事務局) ウォーキングコースでございますが、大府市の色々な各施設がございますのでそういったところを回ったウォーキングマップというのを大府市で作っています。それは私たちが作った河川緑道も利用していただいていますし、昔から地域でウォーキングコースというものもあつたりしますので、そういったものを基に何コースかに分けてやっています。間に合えばウォーキングマップの準備をさせていただきます。しっかり他部署と連携をしながらマップを作成しております。そこに今回から大府市景観計画の中で大府50景というものの募集もかけたりしたので、そういったところもPRしていければと思ひて担当部署とは話をしておりました。
- 委員長) 緑花の施策の中では、例えばシビックガーデンコンテストが市の中でいろいろ広がりがあるという状況をウォーキングコースの近くでコンテストの受賞者の見せ場があるのであれば連携できないかなという想ひで質問したところがありますが、現状シビックガーデンコンテストとの融合というのではないですか。
- 事務局) シビックガーデンコンテストは春先しかやっていないという時期的なところで、ウォーキングマップは恒久的なものとなるのでその差や、マスターの受賞者の方の花壇は非常にすごく多くの方が見に来られ交通障害が発生してしまうので、なかなか難しいかなと思ひます。
- 委員長) 受賞者の方たちはあまり広く公表はしたくないでしょうか。
- 委員) 私のところも前はそうゆうことをやっておりましたが、車が渋滞しちゃって、バスみたいなので30人くらいでお見えになられたこともありました。皆さんお見えになるので近所から苦情があつたときもちょっとありました。よっぽど広いところでないとなかなか難しいかなと思ひます。
- 事務局) 街角にあつて綺麗なお庭だなと思ひてみてもらえればいいかなということじゃないと、すごい人が来てしまうらしいのでそれだけ皆さんが緑に興味を持っていただいているということだ

とは思いますがね。

委員長) シビックガーデンコンテストで後から説明がありますインスタ等で、「ウォーキングコースで見つけたい花・いい緑」を参加者にハッシュタグをつけて投稿してもらうような案内や仕掛けをできれば、この施策とウォーキングコースの施策を融合する一つかなと思います。

委員) 今日、資料見ていて思ったことがあります、後で話されるとは思いますが、このハッシュタグについて3つくらい書いてありますけど、その中でやはりシビックガーデンコンテストとか花を育てなくてはいけないのでそれは無理とかマンションに住んでいる人もなかなか難しいと思うので、育てるコンテストというのは敷居が高いのかなということがあって、今皆さんスマートフォンを結構やられているので気軽に撮影したものを載せていくような方法もあるのかなと思って、そうすると幅広い参加者が来たりして、ハッシュタグを告知できればいいかなと思います。

委員長) 基本目標4の特に目標値の満足というか市民が実感する満足しているということへの施策としてインスタを使ったりして情報発信していくことは大事だと思いますので引き続きお願いいたします。

委員長) 特に今後の運用面については、引き続き重要な議題になっていくのではないかとということで、事務局のお考えをたたき台としながら今後も引き続き継続的に議論をすすめていければと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

(2) 提案型緑化推進事業中間報告について

(事務局より説明)

委員) 16頁のハーブストリートの中間報告ということですけど、今年の夏は非常に暑くて大変だったと思いますけど、その中でも、あずき薬局の奥さんやご近所さんなんかですごく手入れをされているのが、自分たちが車で通った時もよくわかりました。残念なのは一人非常によくやっていた方がお亡くなりになったということがありました。他の方たちも加わって本当に写真のように綺麗になっていて皆さんのお目を和ませたのではないかなと思っております。

委員長) いずれの団体さんも順調に実施をされているというご報告であります。何か団体さんから困っていらっしゃるのと課題みたいなおところでお聞きしていますか。

事務局) 具体的に申し上げますと、報告書にある5万円は使ってしまった、もう少し頂けないかとか、数年経つと花の苗代や手間がかかってしまうので、そういった団体さんの中で力のあるところには上級コースのご案内などを行っています。

委員) 提案型緑化推進事業は過去10年ほど金額が変わっていない。市のトップの人たちに市の緑化を考えるのであれば金額上げてほしいと前にも提案しましたが、各団体のやる気にも関わってくるのだと思いますのでもう少し考慮してもらった方がいいと思う。

事務局) 我々の方も今回の見直しも兼ねて多めに予算要求をしておりましたが、大府市全体の中でなかなか厳しいところがあるのかなというのが正直なところでございます。我々としてもこういった意見があったということ、議事録を通してアピールしながらやっていきたいと思っております。

委員) 補足で喜ばしいことですが、オレンジガーデニングの方から非常に活動しやすくなったと聞いていて、精力的に活動をされている。提案型緑化推進事業の中で5万円の部門を作っていたことで非常に活動がしやすくなったと喜んでおりました。

委員長) 新しく制度として今年から運用しているものでして、もう少し成果の蓄積が必要なかなと思います。今の課題のところを資料として明確に残していただいた方が次回の予算要求や施策を検討する際にエビデンスになると思います。先ほど維持管理をこれからどうしていくのかということをお申し上げましたが、上級部門の方たちをさらに公共的と言いますか準公共的な形で定常的な支援というのが必要なグループもあるでしょうし、この提案型緑化推進事業プラスαで構築していかないといけないと思うので、もう少し先での改訂を見越して進められるといいと思います。

委員) それぞれ皆さん色々な工夫をしていらっしゃるの折を見て、この事業に参加された方たちがそれぞれの地域を回って皆さんがそれぞれどんな工夫をしていらっしゃるかという経験の交流会みたいなものをやるとすごくお互いに学べるのではないかなと思いますので、そういった機会を設けていただけるといいと思います。

委員長) いいご意見だと思いますので、ぜひ交流会での広がりをしていきたいですね。

委員) 開催日などの情報は公表してほしい。広報に載っていても知らないことがあるので、せめてここだけでも情報交換してほしい。

委員長) 今のお二方のご意見をなるべく労力を少なくやるということをお考えたときに、今ご報告いただいている様式に活動報告や工夫している点などをやっていただいている団体さんにも書いてもらい、まとめてくとそれをそのまま公表できる素材にもなるかもしれませんし、もう少し今

の意見を踏まえた工夫というものがあってもいいのかなと思いながら伺っていました。情報を知らないという人たちに対しての効果にも繋がりますし、ぜひ検討していただければと思います。

委員) 看板、いいかなと思ひましてオレンジガーデニングさんもつくられていますけど、あとBT木の山さんはまだ検討中ということでお金の面もあるのかなということで、例えば看板だけは費用を別にということではできないですかね。

事務局) 看板についてはこの後報告のところにもありますけれども、事務局で看板を作成するので自分で作っていただいたものと併せてPRできたらいいかなと思っております。

委員長) 提案型緑化推進事業につきましては、現状の中間報告といたしまして皆さんご認識いただいたということと今後に向けて情報発信の方法も含めて課題の収集・集約も含めてぜひ新しい枠組みを継続して活かしていただきたいということで進めていただければと思います。

3. その他

(1) 緑化施策のPR用ハッシュタグについて

(2) 提案型緑化推進事業の周知看板(QRコード)について

委員) 看板の中に「実施しているのは〇〇(団体名)です」など団体名を入れるとか・・・

事務局) 各団体名を記載したものをご用意する予定です。こちらの看板にQRコードを記載して、リンク先のウェブサイトには市全体の提案型緑化推進事業の紹介を写真付きでさせていただきますと考えています。それがよいPRになればいいかなと思っております。

委員) オレンジガーデニングさんの看板にあるように看板には団体がどのようなことをしているのかパッと見てわかるようにした方がいいかなと思ひました。

委員長) 事務局がご提示いただいた看板の案ですと事業の説明になっていて団体がちょっとわかりにくいというご指摘だと思いますので、イメージとしては「この花壇はオレンジガーデニングプロジェクトおおぶによって整備されています」というのが真ん中にきて、下に「提案型緑化推進事業で個人や団体を支援します」という注釈でQRコードが貼ってあるくらいのレベル感を皆さん想像されているかなと思ひました。今、委員のおっしゃったように、今「オレンジガーデニングプロジェクトおおぶ」のところの青いところに、PR用のハッシュタグとかで事業をやるテーマみたいなことが上にあってその一環として団体によって整備されています。市としては支援していますよという構成でやっていたかといひかなと思ひました。

委員) 団体の既に設置している看板のとなりくらいに設置するのか。

事務局) はい。ただ、現地の状況を考慮させていただいて併せて設置させていただけたらと思っております。

委員長) 事務局として各団体をお支えしたいということでご提案いただいておりますので、こういった形で団体のPRと事業のPRを兼ねてこういった案内板を今後展開していきたいというところでのご提案でした。また、これの修正等につきましては時期的な目安はありますか。

事務局) できるだけ早めに修正案を作成して、まず委員長に見ていただいた後、進めていこうと思っております。委員の皆さんには議事録を送付するタイミングで送付いたします。ご意見等あればまた反映してきたいと思ひます。

(3) 横根平子1号公園のワークショップについて

次回、委員会は令和5年2月で会場はセレクトナで予定しています。

【水と緑の部長よりあいさつ】

以上